

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和7年9月18日

和泉市長 あて

団体名 はつが野街づくり推進委員会

代表者名 森 茂樹

所在地 和泉市はつが野3-45-19

電話番号 090-8756-5421

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	はつが野祭り
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	2,198,000 円 (うち、対象経費 1,734,000 円)
支援金 交付申請額	800,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

団体概要調書

フリガナ	ハツガノマチツクリスイシンイインカイ		
団体名	はつが野街づくり推進委員会		
団体の目的	はつが野自治会、はつが野三丁目自治会、はつが野松風台自治会からなるはつが野街づくり推進委員会が主催する はつが野祭りを通して地域住民の親睦を深め、世代間交流を推進する。		
市内事務所の所在地	〒594-1106 和泉市はつが野 3-45-19 森茂樹方 【 住居と兼用 】		
	電 話	090-8756-5421	F A X XXXXXXXXXX
フリガナ	モリ シゲキ		
代表者氏名	森 茂樹		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ XXXXXXXXXX		電 話 XXXXXXXXXX
	XXXXXXXXXX		F A X XXXXXXXXXX
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。 XXXXXXXXXX		
設 立 年 月	2012年 4 月	主な活動地域	はつが野一・二・三丁目
会報等の発行	無	会員数	1,250 人
メールアドレス	XXXXXXXXXX		
ホームページ	https://sites.google.com/view/hatsugano-machizukuri/		
主な事業内容	1 はつが野街づくりに関する検討、協議を行う。 2 はつが野祭りの実施 3 その他この会の目的達成のために必要な活動		
主な活動の実績	○ はつが野祭りの実施 (1) H28,11,06 青葉はつが野小学校 参加者 約 4,000 人 (2) H29,10,29 青葉はつが野小学校 参加者 約 2,500 人 (3) H30,11,29 青葉はつが野小学校 参加者 約 4,000 人 (4) R1. 11.3 青葉はつが野小学校 参加者 約 3,000 人 (5) R5.10.29 青葉はつが野小学校 参加者 約 4,500 人 (6) R6.11.3 青葉はつが野小学校 参加者 約 3,650 人		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	はつが野祭り
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 はつが野地区は、大規模な宅地開発により継続的に人口が増加している、和泉市内でも特に新しい街です。新しい住宅や家族が年々増え続ける活気がある一方で、新旧住民が混在し、その多くが日中は通勤・通学で地域を離れるため、住民同士の間関係が希薄化しやすいという現代的な課題を抱えています。隣に誰が住んでいるか分からない、地域活動への関心が薄いといった状況は、コミュニティとしての連帯感を育む上での大きな障壁となります。 この関係性の希薄化は、単に「ご近所付き合いがない」という寂しさの問題に留まりません。高齢者や日中一人で過ごす子育て世帯が社会的に孤立するリスクを高め、いざという時の助け合いを困難にします。また、子どもたちにとっては、地域に愛着を持ち「ふるさと」として認識する原体験が不足しがちです。 さらに、近年のライフスタイルの多様化や、コロナ禍を経て定着した新しい生活様式は、地域住民が自然に顔を合わせる機会を一層減少させました。このような社会背景の中、意図的に大規模な交流の「場」を創出しなければ、地域の繋がりはますます失われ、防犯・防災といった地域全体の安全保障体制の脆弱化にも繋がりがかねません。子どもたちが健やかに育ち、誰もが孤立せず、安全・安心に暮らせる持続可能なコミュニティを築くために、地域全体の繋がりを再構築し、強化することが喫緊の課題となっています。「はつが野祭り」は、この課題に対する最も有効かつ実績のある解決策です。	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 本事業の最大の目標は、「はつが野祭り」を単なる一過性のイベントではなく、前述の地域課題を解決し、持続可能なコミュニティを創造するための社会的なプラットフォームとして機能させることです。その達成により、以下の多岐にわたる効果が期待されます。 第一に、地域コミュニティの活性化と住民の連帯感醸成です。祭りは、子どもから高齢者まで約4,600人もの多様な住民が一堂に会する、地域最大の交流機会です。この場で生まれる「顔の見える関係」は、日常的な挨拶や声かけを促し、相互に見守り合う地域文化を育みます。結果として、高齢者や子育て世帯の孤立を防ぎ、住民同士の助け合いによる防犯・防災力の強化という、具体的で実践的な効果に繋がります。	

第二に、次世代の地域リーダー育成と郷土愛の醸成です。祭りでの楽しい思い出は、子どもたちにとって何物にも代えがたい「ふるさとの原風景」となり、地域への愛着を育みます。さらに、近年活発化している中学生グループ「街を盛り上げ隊」のように、若者が企画・運営に主体的に関わることは、社会性や協調性、そして地域に貢献する喜びを学ぶ絶好の機会です。これは、10年後、20年後の地域を担う人材への、未来への投資に他なりません。

第三に、地域経済の活性化への貢献です。地域の店舗や企業に協賛や出店を広く呼びかけることで、事業者が住民に自らの活動をPRし、新たな顧客を獲得する機会を創出します。祭りをハブとして地域内での経済循環を生み出すことは、街全体の活力向上に直接的に貢献します。

以上の通り、本事業は地域に「交流」「育成」「活性化」という好循環を生み出す、極めて公益性の高い効果が期待できるものです。

令和7年度の開催は10月26日（日）です。

今回は、昨年度の反省を生かして、改善した点は下記の通りです。

- 1) 飲食店舗数を増やした。昨年14店舗 → 今年17店舗
- 2) 昨年のアンケートで店に長時間並ぶことなく買えてすぐ食べられるものが欲しいとの要望に応えるために、焼きそば、おにぎり、などの販売をすることになった。
- 3) イベントの目玉として「バウンス遊具」を借りて、運営することにした。
- 4) 高所作業車を使って10mの高さまで昇り、会場を一望できる機会を作る。

4 事業内容（※別紙添付可）

①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。

- (1) 地域周辺の学校、団体、サークル等によるアトラクション
南池田中学校生徒吹奏楽部演奏、フラダンス、こどもジャズダンス、バレー発表等
- (2) 自治会員によるゲームブース
金魚すくい、くじ引き、スピードガン、囲碁将棋等、
- (3) 和泉総合高校の生徒さんによるミニSLの運行
- (4) 地域内の飲食業者による飲食ブース（原価販売）
ベビーカステラ、クレープ、パン、シシケバブ等

以上のイベント等を行い、たくさんの方が楽しめるはつが野祭りを開催する。

② 実施期間（日時）	令和8年10月25日（日）午前9時～午後3時
------------	------------------------

③ 実施場所	青葉はつが野小学校 グラウンド
--------	-----------------

④ 主な対象者	青葉はつが野地区のすべての住民
---------	-----------------

⑤ 参加予定者数	3,000人
----------	--------

⑥告知方法	広報いずみでの告知 はつが野 1 丁目、2 丁目、3 丁目の全戸に開催案内チラシを配布 ホームページで開催を告知
5 事業スケジュール	
次期（月）	内容
5月	イベントのテーマ、日時、場所、スケジュールの協議
6月	演目、出演候補の選定、各ブロックブースの出し物の協議
7月	舞台および音響設備、ブース経費、収支検討
8月	運営計画書の提出、タイムテーブル、会場レイアウト、案内書の協議
9月	事前準備と進行、作業分担の協議
10月初め	案内パンフレット作成、地域住民への告知
10月下旬	はつが野祭りの開催
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2 審査基準参照 (実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
① 公益性	はつが野祭りは、子どもから高齢者まで全世代が集う地域最大の交流拠点です。住民同士の絆を深め、子どもたちには郷土への愛着を育みます。防犯意識の向上や地域の活性化にも繋がり、安全で活力あるコミュニティ形成に貢献する、極めて公共の利益に資する事業です。
② 継続性	17年の歴史が示す通り、安定的・継続的な開催基盤が確立されています。3自治会合同の実行委員会による運営体制、協賛金や出店料を基にした自立的な財政、そして運営ノウハウの次世代への継承により、今後も地域を代表するイベントとして持続発展が可能です。
③ 実行性	過去16回の開催実績に裏打ちされた、具体的で実現可能性の極めて高い計画です。経験豊富な役員、総勢100名超の運営スタッフ、詳細な役割分担と年間スケジュール、そして学校や行政との強固な連携体制により、計画を確実に遂行できる盤石な実行力を有します。
④ 協働性	地域社会の縮図ともいえる、多様な主体の協働によって成り立つ事業です。3自治会を核に、学校、PTA、企業、学生ボランティア、公的機関がそれぞれの強みを持ち寄り、一つの祭りを創り上げる、和泉市が目指す「協働によるまちづくり」を体現しています。
⑤ 公開性	運営プロセスと成果を広く地域に公開し、誰もが参加できる透明性の高い事業です。全戸への開催案内配布、ウェブサイトでの情報発信、出店者やボランティアの公募、そして祭り後の収支決算報告により、地域全体の共有財産として開かれた運営を徹底しています。
⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	現状維持に留まらず、常に地域の未来を見据えています。デジタル技術の活用による新たな交流の創出や、中高生・大学生の企画運営への参画を通じた次世代リーダーの育成など、社会の変化に対応しながら地域と共に成長し続ける、未来志向の発展性を有しています。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： はつが野祭り

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	800,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	250,000	各ゲームブースでの売上金
	150,000	出店料収入
	350,000	近隣商店、企業、医療施設等からの協賛金
自主財源	648,000	各自治会支出金（はつが野自治会、はつが野3丁目自治会、はつが野松風台自治会）
合 計	2,198,000	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	20,000	演目出演者謝礼
消耗品費	95,000	各ゲームブース材料代、ブルーシート等
食糧費	30,000	スタッフ飲料代（100円×300人）
印刷製本費	73,000	開催案内（A4カラー4ページ 2,500部） アンケート用紙（A4両面カラー 500部）
役務費	15,000	切手、振込手数料、通信費
委託料	450,000	舞台音響設備設置・運営費 シルバー人材センター（駐車場等整理）
使用料及び賃借料	1,051,000	テント・机・イス等レンタル レンタカー、バウンス遊具賃料
報償費（対象外）	2,000	シニアセンター清掃協力金
消耗品費（対象外）	300,000	クイズ景品、抽選会景品等
食糧費（対象外）	160,000	スタッフ昼食代 380個
役務費（対象外）	2,000	振込手数料、景品送料
合 計	2,198,000	
対象経費合計	1,734,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。